

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 昭和産業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2004 URL <https://www.showa-sangyo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 塚越 英行  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 白井 潔 TEL 03-3257-2036  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	89,799	11.3	3,313	82.5	4,042	85.4	2,783	95.2
2023年3月期第1四半期	80,688	17.1	1,815	74.1	2,181	61.8	1,426	73.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,707百万円 ( 139.1%) 2023年3月期第1四半期 1,969百万円 ( 107.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	83.23	—
2023年3月期第1四半期	42.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	250,046	119,866	46.6
2023年3月期	247,770	116,362	45.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 116,469百万円 2023年3月期 112,997百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	7.4	7,500	79.2	8,600	31.8	5,500	△29.3	164.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	33,985,420株	2023年3月期	33,985,420株
2024年3月期1Q	539,654株	2023年3月期	539,290株
2024年3月期1Q	33,445,940株	2023年3月期1Q	33,404,796株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され経済・社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調が見られました。

しかしながら、原料穀物相場は、依然として高値圏で推移しており、またウクライナ情勢の長期化に加え、為替相場やエネルギー価格の変動などにより、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた3rd Stage「中期経営計画23-25」を本年4月にスタートいたしました。基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間では、「①基盤事業の強化」において、食品事業における製油・糖質カテゴリのより一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値向上に向けて国内での事業の展開を加速させるため、辻製油株式会社と本年5月に資本業務提携を行いました。

また、創立以来初となる抜本的な営業組織改編を実施し、これまで「プロダクトアウト型」であった当社の組織を業態別・顧客別の「ワンストップ型」に変革し、お客様のニーズに合致する最適なソリューションを迅速に提供する「マーケットイン型」の体制に改編しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は89,799百万円と前年同期に比べ9,111百万円（11.3%）の増収となりました。営業利益は3,313百万円と前年同期に比べ1,497百万円（82.5%）の増益、経常利益は4,042百万円と前年同期に比べ1,861百万円（85.4%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,783百万円と前年同期に比べ1,357百万円（95.2%）の増益となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、組織改編による事業管理の変更に伴い報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

詳細は「2 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

#### <食品事業>

食品事業は、行動制限の解除などにより外食や飲料用途等の需要が回復してきた一方で、コンビニエンスストア向けの日配品や内食需要において厳しい状況が続きました。このような市場環境の中、当社の強みであるマーケット分析力を生かし、本年4月より導入した顧客別営業組織によるターゲット業態ごとのワンストップ型提案営業の強化に取り組みました。一方、原料穀物相場の高値圏での推移や円安進行による輸入コスト、エネルギーコスト上昇に伴い、適正価格での販売を優先したことにより物量面では苦戦しました。

製粉カテゴリは、輸入小麦の政府売渡価格が本年4月に平均5.8%（税込価格）引き上げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を実施しました。小麦粉の販売数量は前年同期を上回りましたが、プレミックスの販売数量については、前年同期を下回りました。パスタの販売数量は外食市場中心に好調であったため、前年同期を上回りました。ふすまの販売数量については、前年同期を下回りました。なお、家庭用の小麦粉、プレミックス、パスタについては適正価格での販売を優先したため、販売数量は前年同期を下回りました。製粉カテゴリの売上高は、価格改定に注力したことにより前年同期を上回りました。

製油カテゴリは、上昇したコストを踏まえた適正価格での販売活動と、長寿命オイルや油染みの少ないベーカリ一用オイルなど機能的に価値のある商品提案や課題解決型営業に取り組んでまいりました。しかしながら、製品価格の大幅な上昇に伴う需要減退、節約志向の高まり等により、販売数量については、前年同期を下回りました。なお、家庭用油脂については適正価格での販売を優先したため、販売数量は前年同期を下回りました。製油カテゴリの売上高は、価格改定に注力したことにより前年同期を上回りました。

糖質カテゴリは、当社連結子会社である敷島スターチ株式会社やサンエイ糖化株式会社との連携を図り、上昇したコストを踏まえた適正価格での販売活動に取り組んでまいりました。低分解水あめ、粉あめなど独自性のある商品群の拡販に努めましたが、糖化品の販売数量については、前年同期を下回りました。コーンスターチおよび加工でん粉の販売数量についても工業用途等の需要が減少し、前年同期を下回りました。糖質カテゴリの売上高は、価格改定に注力したことにより前年同期を上回りました。

これらの結果、食品事業の売上高は73,665百万円と前年同期に比べ7,969百万円（12.1%）の増収、営業利益は3,353百万円と前年同期に比べ1,380百万円（69.9%）の増益となりました。

#### <飼料事業>

飼料事業は、顧客のニーズに対する提案型営業や畜産物の販売支援による畜産生産者との取り組み強化、高付加価値商材の拡販に努めてまいりました。昨年10月に感染が確認された鳥インフルエンザの感染拡大が配合飼料の販売に影響を及ぼし、配合飼料および鶏卵の販売数量については、前年同期を下回りました。売上高は、配合飼料の価格改定により前年同期を上回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は14,967百万円と前年同期に比べ1,185百万円(8.6%)の増収、営業損失は7百万円と前年同期に比べ97百万円の改善となりました。

#### <その他>

倉庫業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し荷役量の増加に努めましたが、貨物取扱量は前年同期を下回りました。

これらの結果、不動産業、保険代理業、自動車等リース業、運輸業、植物工場等をあわせたその他の売上高は1,166百万円と前年同期に比べ44百万円(3.6%)の減収、営業利益は302百万円と前年同期に比べ4百万円(1.4%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、250,046百万円と前連結会計年度末と比較して2,276百万円増加しております。主な増加要因は、投資有価証券が3,896百万円増加したこと、売上債権が1,415百万円増加したことであります。一方、主な減少要因は、棚卸資産が4,672百万円減少したことであります。

負債は、130,180百万円と前連結会計年度末と比較して1,227百万円減少しております。主な減少要因は、仕入債務が2,952百万円減少したこと、設備関係債務が1,163百万円減少したことであります。一方、主な増加要因は、有利子負債が2,624百万円増加したことであります。

純資産は、119,866百万円と前連結会計年度末と比較して3,504百万円増加しております。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,783百万円の計上により増加したことであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2023年5月11日に公表した2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,225	7,420
受取手形及び売掛金	55,305	56,720
商品及び製品	16,668	17,522
仕掛品	3,378	3,212
原材料及び貯蔵品	38,700	33,340
その他	3,331	3,403
貸倒引当金	△125	△91
流動資産合計	123,484	121,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,297	32,013
機械装置及び運搬具(純額)	24,632	24,893
土地	21,771	21,771
その他(純額)	4,308	4,831
有形固定資産合計	83,010	83,509
無形固定資産		
のれん	1,120	1,084
顧客関連資産	1,994	1,930
その他	1,364	1,339
無形固定資産合計	4,479	4,354
投資その他の資産		
投資有価証券	33,158	37,054
退職給付に係る資産	270	291
その他	3,472	3,420
貸倒引当金	△106	△113
投資その他の資産合計	36,795	40,653
固定資産合計	124,286	128,518
資産合計	247,770	250,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,427	29,474
短期借入金	16,477	22,124
コマーシャル・ペーパー	24,000	21,000
未払法人税等	2,129	629
賞与引当金	1,894	1,012
その他	17,555	17,948
流動負債合計	94,484	92,189
固定負債		
社債	18,000	18,000
長期借入金	1,853	1,831
役員退職慰労引当金	31	26
退職給付に係る負債	9,194	9,203
その他	7,842	8,928
固定負債合計	36,922	37,990
負債合計	131,407	130,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,293	14,293
資本剰余金	7,866	7,866
利益剰余金	82,751	84,364
自己株式	△1,148	△1,149
株主資本合計	103,762	105,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,592	10,170
繰延ヘッジ損益	△8	229
為替換算調整勘定	487	525
退職給付に係る調整累計額	162	170
その他の包括利益累計額合計	9,234	11,094
非支配株主持分	3,365	3,397
純資産合計	116,362	119,866
負債純資産合計	247,770	250,046

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	80,688	89,799
売上原価	68,484	75,912
売上総利益	12,203	13,886
販売費及び一般管理費	10,387	10,573
営業利益	1,815	3,313
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	285	435
為替差益	—	41
持分法による投資利益	162	100
その他	177	216
営業外収益合計	626	794
営業外費用		
支払利息	54	51
損害賠償金	2	4
為替差損	189	—
その他	13	9
営業外費用合計	260	65
経常利益	2,181	4,042
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
退職給付制度改定益	45	—
国庫補助金	—	35
特別利益合計	46	36
特別損失		
固定資産廃棄損	60	87
固定資産売却損	2	0
港湾岸壁浚渫費用	35	—
特別損失合計	98	87
税金等調整前四半期純利益	2,129	3,992
法人税、住民税及び事業税	379	762
法人税等調整額	296	401
法人税等合計	675	1,164
四半期純利益	1,453	2,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,426	2,783



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,453	2,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	1,509
繰延ヘッジ損益	204	237
退職給付に係る調整額	56	8
持分法適用会社に対する持分相当額	59	124
その他の包括利益合計	515	1,879
四半期包括利益	1,969	4,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,926	4,644
非支配株主に係る四半期包括利益	43	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食品事業	飼料事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	65,695	13,781	79,477	682	80,160	—	80,160
その他の収益	—	—	—	527	527	—	527
外部顧客への売上高	65,695	13,781	79,477	1,210	80,688	—	80,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,030	0	1,031	664	1,695	△1,695	—
計	66,726	13,782	80,509	1,874	82,383	△1,695	80,688
セグメント利益又は 損失(△)	1,973	△104	1,869	307	2,176	△360	1,815

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、不動産業、植物工場、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△360百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、全社費用△359百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食品事業	飼料事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	73,665	14,967	88,633	706	89,340	—	89,340
その他の収益	—	—	—	459	459	—	459
外部顧客への売上高	73,665	14,967	88,633	1,166	89,799	—	89,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	922	1	923	745	1,669	△1,669	—
計	74,588	14,968	89,557	1,911	91,468	△1,669	89,799
セグメント利益又は 損失(△)	3,353	△7	3,346	302	3,649	△336	3,313

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、不動産業、植物工場、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△336百万円には、セグメント間取引消去4百万円、全社費用△340百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間の期首に、当社の営業組織を「プロダクトアウト型」の事業管理・販売活動を行う体制から、業態別・顧客別の「ワンストップ型」に改編し、当社の強みである事業間シナジーを最大化する「マーケットイン型」の組織体制・事業管理体制に移行する組織改編を実施しました。この組織改編による事業管理の変更に伴い、報告セグメントを従来の「製粉事業」、「油脂食品事業」、「糖質事業」及び「飼料事業」の4区分から、「食品事業」及び「飼料事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。